

磐城時報

日刊 第七十夕
印刷部 磐城印刷局
電話 二四八
社址 磐城郡平田町
電話 二四八
代印部 磐城印刷局
電話 二四八
代印部 磐城印刷局
電話 二四八

四倉港修築に關する 陳情書と追願書

縣會に提出

四倉町では屢報の如く町會に於て四倉港修築陳情の決議をなしたがその陳情書並に追願書左の如し。

陳情書

當町は戸數千四百六十餘人口八千四百餘人に於て其七割は何れも漁業に従事し三十馬力以上の遠洋漁船二十一隻三十馬力以下十八隻其他小型漁船百餘隻を有し漁獲高年額七十一萬乃至一萬圓を算する縣三大漁場の其一に在り漁村に有之候處沿岸漁業は年々衰退し爲に時代の趨勢に伴ひ遠洋漁業をなさざるべからざる事に立至り船体漁具及び漁撈方法を改善し南は伊豆諸島北は北海道釧路沖合に出漁するの狀態にして勢ひ大型漁船に據らざるべからざるも是に修築せる漁港は極めて狭隘なる爲め大型漁船を收容するは頗る困難にして現在の船數四分の一を定繫せしむるに過す一朝風浪の襲來せんか入港全不能に陥り他港に避難せざるを得ず如斯状態なるが故に漁夫の如きも危懼を抱き出漁日數著しく減じ爲めに漁獲高に影響し當業者及従事者の損失は勿論従つて一般町民も經濟上の打撃を蒙り疲弊困憊其極に達し職々他に求むるの悲慘に遭遇し延びては當町自治の存立を危くするものと認め候

郡内最初の普選

山田村議の改選

来る二十五日行はる
競争は案外平穩か

山田村の村會議員改選は来る二十五日行はる等であるが、同名に割當てる一人約六十票の村の選挙は石城郡に於ける町村得票を要し目下の處九名の候補會議員選挙中最初の普通選挙に者が出ただけであるが、選挙日より多分の注意を以て見られて二三名の候補者を見るであら何は多大の注意を以て見られて二三名の候補者を見るであら何は多大の注意を以て見られて二三名の候補者を見るであら

親任式

樞密顧問官

東京電

陸軍大將齋藤實男、貴族院議員鎌田榮吉兩氏の樞密顧問官親任式並に兒玉秀雄大將辭表提出による新任樞密顧問官木下謙次郎氏の新任式は何れも十七日午後田中首相待立の上赤坂離宮で行はれた、尙ほ山梨朝鮮總督は十七日午前九時東京驛發車に出發した。

横領詐欺常習のモグリ歯醫師

吹の湯で捕はる

自稱長野縣伊那郡飯田町宮下長二名、書記五名、水夫五名、科醫師齋藤直治方に雇はれ中同六千三百圓、一方港の管理費と家の取立金五十六圓五十錢を横領して燈臺、護岸修繕、防砂堤修領し且つ十五日湯本町湯屋兼旅館等で一萬六千五百圓、併せ人宿吹の湯若松久、方二圓で三萬二千八百圓程度であるといふ七十錢の無銭飲食した上前記若松久、方二圓で三萬二千八百圓程度であるといふ七十錢の無銭飲食した上前記若松久、方二圓で三萬二千八百圓程度であるといふ

如來寺の道路開鑿

四倉町如來寺檀家佐藤八之助、鈴木宇八兩氏は住職小松學俊氏と圖り境内から墓地まで巾八尺、長さ三十七間の道路を造る可く各戸を訪れ夫々贈與した。

小名濱商港維持費

小名濱商港問題は目下縣會の間を招き竣功式を行つた、尙ほ佐過般請負者鈴木茂重氏をして着工中であつたが右道路の外極樂門まで完成したので十六日有志

年賀郵便と小包は早く出して貰ひ度い

期間は僅か五日間

それ以前でも引受ける

郵便局の業務中取扱上最も難關の最先便から配達して來たが昨とすは年末年首に於ける年賀年は、先帝陛下御崩御の爲中途郵便の取扱であるが、此の難關を中止し本年は諒開明けの十二月二十五日から同二十九日まででは十二月十五日より同二十九日の短期間に特別取扱を爲す事となつたため本期は諒開明け最初の取扱となる且つ特別取扱の期間は僅かに五日間に過ぎざる關係上多數の年賀郵便物は一時に殺到して郵便局の事務は非常に混雑する事と思はるゝに就ては可なる歩兵第二十九聯隊二百餘名成期間内に出來得るだけ早目に差出され此の特別取扱の制度を郡下各町村小學校では夫々募集充分利用し自他共に利便を享く中であつたが今回全部が取纏る様に心掛けたといふ田村平の局長は希望を述べ、尙ほ同地に向け發送した。

満州守備兵に慰問袋發送

石城教育會は過般の總會に於て満州守備隊に派遣されて來る兵士に慰問袋を贈る事に決定

小田炭礦で慰問

好間村小田炭礦株式會社敬老會邊り方に職工見習をしてゐるでは社長秋原申八氏の意志によ實弟菅野喜三郎を頼つて東京に去る十二日従業員中の高齢者出で何か仕事にありつかんとし佐川喜七八三氏外十三名に對十六日午後十時仙臺發上野行急し慰問の意味で赤色フランネルの肌着一着づ、贈與する事となり委員として永瀬正信、高橋代治、磯貝龜雄、新井市太各氏が各戸を訪れ夫々贈與した。

驚いた!!!

加納活版所の印刷物!!

家出女房

仙臺市狐小路六壽司屋宇野誠妻宇野ハツ(二七)は夫誠が養子であるため兎角家庭圓滿ならずいつその事東京市下谷區谷町渡來た伯父に引渡した。

